

厚生労働科学研究費補助金

がん臨床研究事業

未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および  
安全性に関する多施設共同研究

平成22年度～24年度

総合研究報告書

研究代表者 小野 裕之

平成25（2013）年 5月

## 目 次

### I. 総合研究報告

未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および安全性に関する 多施設共同研究 小野 裕之	1
---	---

### II. 研究成果の刊行に関する一覧表

平成22年度	3
平成23年度	21
平成24年度	43

### III. 研究成果の刊行物・別刷 (別添)

## 厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)

平成 24 年度 総合 研究報告書

研究課題名 未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性及び安全性に関する  
多施設共同研究

研究代表者 小野 裕之 施設名 静岡県立静岡がんセンター 副院長・部長

## 研究要旨

本研究は、外科的切除が標準治療である、腫瘍径 2cm 以下かつ潰瘍(-)の未分化型粘膜内癌に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を行うことにより、外科的切除と同等の治療成績が得られる低侵襲治療の開発を目的とする。

未分化型胃癌であっても、2cm 以下かつ潰瘍(-)であればリンパ節転移の危険性は低く、ESD により確実に病変を一括切除し、完全切除の有無を病理学的に確認することによって、内視鏡的な治療切除が可能である。本研究の結果、予想通りに ESD 後の再発がほとんどなければ、将来的には未分化型癌にも ESD の適応を拡大することが可能となり、それによって胃を温存する治療が可能となり、胃切除によって起こりうるダンピング症候群、貧血、通過障害などの術後合併症を防止でき、胃がんに対する新たな低侵襲治療が確立する。

この目的を達成するため、主要エンドポイントを「5 年生存割合」、副次エンドポイントを、「全生存期間」、「無再発生存期間」、「5 年胃温存割合」、「病変一括切除割合」、「有害事象発生割合」、「重篤な有害事象発生割合」とした多施設共同第 II 相試験を行う。

## 研究分担者

小野 裕之	静岡県立静岡がんセンター 副院長・部長	堀 伸一郎	四国がんセンター 医長
武藤 学	京都大学医学部研究科 教授	粉川 敦史	横浜市立大学附属市民総合医療センター 准教授
小田 一郎	国立がん研究センター中央病院 医長	本橋 修	神奈川県立がんセンター 部長
大野 康寛	国立がん研究センター東病院 医員	※三梨桂子	国立がん研究センター東病院 非常勤医師
飯石 浩康	大阪府立成人病センター 診療局長	※平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	
田邊 聡	北里大学医学部 准教授	A. 研究目的	
貝瀬 満	虎の門病院 部長	本研究は、外科的切除が標準治療である、腫瘍径 2cm 以下かつ潰瘍(-)の未分化型粘膜内癌に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を行うことにより、外科的切除と同等の治療成績が得られる低侵襲治療の開発を目的とする。	
西崎 朗	兵庫県立がんセンター 部長	国立がん研究センター中央病院とがん研有明病院における外科切除例の検討から、上記の対象病変のリンパ節転移の頻度は 0% (0/310 : 95%信頼区間 0~0.9%) であることが報告され、この上限 0.9%は通常の外科切除における手術関連死亡 1%よりも低いことから、内視鏡的切除を外科切除に替わる新しい標準治療の候補と	
丹羽 康正	愛知県がんセンター中央病院 副院長・部長		
森田 圭紀	神戸大学医学部 助教		
土山 寿志	石川県立中央病院 診療部長		
小山 恒男	佐久総合病院 部長		

して臨床試験を行うことが妥当であると考えられるに至った。

## B. 研究方法

目的を達成するために多施設共同第 II 相試験を行う。

本試験の主要エンドポイントは「5 年生存割合」、副次エンドポイントは、「全生存期間」、「無再発生存期間」、「5 年胃温存割合」、「病変一括切除割合」、「有害事象発生割合」、「重篤な有害事象発生割合」である。

下記条件を満たす症例を対象とする。

- 1) 単発の胃癌である。
- 2) 治療前内視鏡下生検にて、組織学的に未分化型癌 (por, sig) を含むことが確認されている。
- 3) 深達度が内視鏡的に T1a (M) (粘膜内癌) と診断される。
- 4) 内視鏡検査にて、腫瘍の最大径が 2cm 以下。
- 5) 潰瘍所見を有さない。
- 6) ESD にて一括切除可能と判断される。

### (倫理面への配慮)

本研究に関わるすべての研究者は、ヘルシンキ宣言に従って本研究を実施し、参加患者の人権保護に努める。また、がん臨床試験のための公的研究費によりサポートされた研究班の集合体である JCOG により、研究の第三者的監視を受け、科学性と倫理性の確保に努める。

## C. 研究結果

2010 年 12 月 24 日に JCOG プロトコール審査委員会承認を得た。参加施設の審査委員会の承認後、2011 年 2 月 1 日より試験登録を開始した。2013 年 2 月 28 日時点での総登録数は 307 例であり、予定集積を上回るペースで登録が行われ

ている。全国に広がる試験参加施設を擁し、研究を遂行中である。

## D. 考察

本研究の結果、予想通りに ESD 後の再発がほとんどなければ、将来的には未分化型癌にも ESD の適応を拡大することが可能となり、それによって胃を温存する治療が可能となり、胃切除によって起こりうるダンピング症候群、貧血、通過障害などの術後合併症を防止でき、胃癌に対する新たな低侵襲治療が確立する。

対象となる未分化型胃癌に対して ESD を施行し、追跡するという、prospective study はまだ行われておらず、本研究の結果により、ガイドラインの変更等、臨床に大きく寄与することとなる。

## E. 結論

目的を達成するため、症例集積を進めていく。

## F. 健康危険情報

現時点で、健康危険情報は無い。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

本試験は現在進行中であり、本試験に関する論文発表は行っていない。

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許の出願

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

## 書籍：外国語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Ono H., Seewald S., Soehendra N.	Endoscopic Resection, Ablation, and Dissection		Gastroente rological Endoscopy, second edition.	Thieme	Stuttga rt-New York	2010	

## 書籍：日本語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
武藤学(監修)	一消化管・腹膜一 食道「食道総論」「食道癌」「胃食道逆流症(GERD)」「食道・胃静脈瘤」「Mallory-Weiss症候群」「食道アカラシア」「食道裂孔ヘルニア」	医療情報科学研究所	病気がみえる Vol.1 消化器 第4版	(株)メディックメディア	東京都	2010	26-55
東野晃治、石原立、飯石浩康	早期胃癌に対する光線力学的療法 (PDT)	飯田三雄	胃癌	最新医学社	大阪市	2010	178 - 187
三梨桂子	粘膜下腫瘍上の II c 食道癌	武藤 学	消化管癌画像診断アトラス	羊土社	東京	2010	175-178
三梨桂子	A. 食道がん診断 2-1. 内視鏡診断	中郡聡夫	消化器外科の基本手術手技	中外医学社	東京	2010	2-5

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中島健, 菅原真樹, 小田一郎, 他	EMR/ESD 後の多発胃癌のサーベイランス	胃と腸	01:46(1)	66-74	2011
武藤 学	咽頭・食道癌の最新知見ーアルコールの発癌性に WHO が警鐘ー	日経メディカル	5	21-23	2010
花房 正雄、飯石 浩康 他	内視鏡による早期胃癌のⅡb 進展範囲診断	胃と腸	45	132-140	2010
神崎 洋光、飯石 浩康他	リンパ球浸潤胃癌	胃と腸	45	1926 - 1934	2010
竹内 洋司、飯石 浩康他	早期胃癌	内科	106	631-637	2010
竹内 洋司、飯石 浩康他	各種画像強調を利用した胃癌診断	消化器内視鏡	22	84-92	2010
矢野友規, 金子和弘, 三梨桂子, 大津敦.	手技の解説 上部消化管内視鏡検査における頭頸部腫瘍の早期診断法.	Gastroenterological Endoscopy.	52(5)	1440-1450	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田辺 聡, 樋口勝彦, 佐々木徹, 堅田親利, 東瑞智, 石戸謙次, 中谷研斗, 阿江太佳子, 小泉和三郎	治療困難例に対するダブルスコープESD(シングルトランスシステム)	臨床消化器内科	25 巻 9 号	1309-1314	2010
田邊 聡, 堅田親利, 佐藤文, 阿江太佳子, 石戸謙次, 小泉和三郎	【血管の異常をきたす消化管疾患】Gastricantral vascular ectasia(GAVE)の診断と治療	臨床消化器内科	25 巻 5 号	553-558	2010
堅田親利, 田辺聡, 正來隆, 中山明仁, 岡本牧人, 小泉和三郎	【消化器内視鏡診療の進歩パラダイムシフトへの胎動を覗きみる】腫瘍性病変における内視鏡診療の進歩 頭頸部表在癌	内科	106 巻 4 号	615-621	2010
堅田親利, 田辺聡, 阿江太佳子, 正來隆, 松葉宏起, 中山明仁, 石戸謙次, 中谷研斗, 東瑞智, 佐々木徹, 樋口勝彦, 岡本牧人, 小泉和三郎	【見落とすな、早期咽頭・食道癌】経鼻・極細径内視鏡による中下咽頭癌スクリーニング	消化器内視鏡	22 巻 6 号	931-939	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田中雅樹、 <u>小野裕之</u> 、他	IT ナイフ 2 による食道 ESD	胃と腸	44 巻 3 号	359-364	2009
角嶋直美、 <u>小野裕之</u> 、他	ESD の実際 [胃 ESD] 術前診断のポイントとコツ	消化器の臨床	12 巻 3 号	313-317	2009
岩館峰雄、 <u>小野裕之</u> 、他	医原性消化管穿孔の閉鎖術	消化器内視鏡	21 巻 6 号	932-937	2009
<u>小野裕之</u>	胃における内視鏡的粘膜切除術 (EMR)・内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	治療学	42 巻 9 号	978-982	2008
<u>小野裕之</u> ，八尾隆史，味岡洋一，他	早期胃癌 ESD 適応拡大を求めて	胃と腸	43 巻 1 号	91-106	2008
草野央，後藤田卓志，小田一郎， <u>小野裕之</u>	高齢者早期胃癌に対する内視鏡切除後の長期予後についての検討	老年消化器病	20 巻 1 号	21-27	2008
田中雅樹， <u>小野裕之</u> ，蓮池典明，滝沢耕平	胃癌の内視鏡治療	日本臨床	66 巻増刊 5	275-279	2008



## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Muto M</u>	Endoscopic diagnosis for superficial neoplasia at the head and neck regions	Eur J Cancer Prev			in press
Yano T, <u>Muto M</u> , Minashi K, et al	Long-term results of salvage photodynamic therapy for patients with local failure after chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma	Endoscopy			in press
Aoyagi K, Minashi K, <u>Muto M</u> , et al	Artificially induced epithelial mesenchymal transition in surgical subjects: its implications in clinical and basic cancer research	PLos ONE			in press
Ueda K, <u>Muto M</u> , et al	Unusual esophageal ulcer caused by Alendronate Sodium Gastrointest	Endosc			in press
<u>Muto M</u> , et al	Macroscopic Estimation of Submucosal Invasion in the Esophagus	Tec Gastrointest Endosc			in press

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Matsuba H, Katada C, <u>Muto M</u> , et al	Diagnosis of the extent of advanced oropharyngeal and hypopharyngeal cancers by narrow band imaging with magnifying endoscopy	The Laryngoscope	Epub		2011
Ezoe Y, <u>Muto M</u> , Minashi K, et al	Efficacy of Preventive Endoscopic Balloon Dilatation for Esophageal Stricture After Endoscopic Resection	J Clin Gastroenterol	45(3)	222-227	2011
Akitake R, Miyamoto S , <u>Muto M</u> , et al	Early Detection of 5-FU-Induced Acute Leukoencephalopathy on Diffusion-Weighted MRI	Jpn J Clin Oncol	41(1)	121-124	2011
Matsubayashi H, Sawai H, Kimura H, Yamaguchi Y, Tanaka M, Kakushima N, Takizawa K, Kadooka M, Takao T, Hebbar S, <u>Ono H</u> .	Characteristics of autoimmune pancreatitis based on serum IgG4 level.	Dig Liver Dis.			2011

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Matsubayashi H, Maeda A, Kanemoto H, Uesaka K, Yamazaki K, Hironaka S, Miyagi Y, Ikehara <u>H, Ono</u> H, Klein A, Goggins M.	Risk Factors of Familial Pancreatic Cancer in Japan: Current Smoking and Recent Onset of Diabetes.	Pancreas.			2011
Sawai H, Matsubayashi H, Sasaki K, Tanaka M, Kakushima N, Takizawa K, Yamaguchi Y, <u>Ono H.</u>	Acasesof sclerosing cholangitis without pancreatic involvement thought to be associated with autoimmunity.	Intern Med.	50(5)	433-8	2011
Kimura H, Matsubayashi H, Fukutomi A, Asakura K, Sasaki K, Yamaguchi Y, <u>Ono H.</u>	Lymphnode metastasis diagnosed by EUS-FNA in four cases with hepatocellular carcinoma.	ClinRes Hepatol Gastroenterol.	35(3)	237-40	2011
Matsubayashi H, Ooka S, Kimura H, Sawai H, Kakushima N, Tanaka M, Goggins M, <u>Ono H.</u>	Proximally migrated pancreatic stent successfully removed using needle-knife and forceps: Complication after precut papillotomy assisted by pancreatic stenting.	ClinRes Hepatol Gastroenterol.	35(4)	321-4	2011

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kusano C, Iwasaki M, Kaltenbach T, Conlin A, <u>Oda</u> <u>I</u> , Gotoda T	Should Elderly Patients Undergo Additional Surgery After Non-Curative Endoscopic Resection for Early Gastric Cancer? Long-Term Comparative Outcomes	Am J Gastroenterol	Mar 15	[Epub ahead of print]	2011
<u>Oda I</u> , Abe S, Kusano C, et al	Correlation between endoscopic macroscopic type and invasion depth for early esophagogastric junction adenocarcinomas	Gastric Cancer	Mar;14( 1)	22-7	2011
Abe S, <u>Oda I</u> , Shimazu T, et al	Depth predicting score for differentiated early gastric cancer	Gastric Cancer	Mar;14( 1)	35-40	2011
Nonaka S, <u>Oda</u> <u>I</u> , Nakaya T, et al	Clinical Impact of a Strategy Involving Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer- Determining the optimal pathway	Gastric Cancer	Mar;14( 1)	56-62	2011
Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Tokunaga M, <u>Ono</u> <u>H</u> , Terashima M.	Surgical resection for mucosal gastric cancer in the era of endoscopic submucosal dissection.	Hepatogastroenter ology.		1620-4	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sanchez-Yague A, Yamaguchi Y, Takao T, Tanaka M, Kakushima N, Takizawa K, Ikehara H, Matsubayashi H, <u>Ono H.</u>	Endoscopic submucosal dissection of a lower rectal polyp proximal to the dentate line by using local lidocaine injection.	Gastrointest Endosc.			2010
Matsubayashi H, Takizawa K, Nishide N, <u>Ono H.</u>	Metastatic malignant melanoma of the gastric mucosa	Intern Med.	49(12)	1243-4	2010
Tu Ch, <u>Muto M.</u> , et al	Submucosal tumor appearance is a useful endoscopic predictor of early primary-site recurrence after definitive chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma	Dis Esophagus	Epub		2010
Ezoe Y, <u>Muto M.</u> , Horimatsu T, <u>Minashi K.</u> , et al	Magnifying narrow-band imaging versus magnifying white-light imaging for differential diagnosis of gastric small depressive lesions: a prospective Study	Gastrointest Endosc	71(3)	477-484	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Katada C, tanabe S, <u>Muto</u> <u>M</u> , et al	Narrow band imaging for detecting superficial squamous cell carcinoma of the head neck in patients with esophageal squamous cell carcinoma	Endoscopy	42(3)	185-190	2010
Hayashi T, <u>Muto</u> <u>M</u> , et al	Usefulness of Narrow Band Imaging for detecting the primary tumor site in patients with primary unknown cervical lymph node metastasis	Jpn J Clin Oncol	40 (6)	537-541	2010
Fujii S, Yamazaki M, <u>Muto M</u> , et al	Microvascular irregularities are associated with composition of squamous epithelial lesion and correlate with subepithelial invasion of superficial type pharyngeal squamous cell carcinoma	Histopathology	56(4)	510-522	2010
Hanaoka N, <u>Iishi H</u> et al.	Autofluorescence imaging for predicting development of metachronous gastric cancer after Helicobacter pylori eradication	J Gastroenterol Hepatol	12	1112-1115	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hanaoka N, <u>Iishi H</u> et al.	Clinical features and outcomes of delayed perforation after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer	Endoscopy	42	1844-1849	2010
Uedo N, <u>Iishi H</u> et al.	Endoscopic Doppler US for the prevention of ulcer bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer : a preliminary study	Gastrointest Endosc	72	444-448	2010
Shiotani A, <u>Iishi H</u> et al	Helicobacter pylori eradication prevents extension of intestinalization even in the high-risk group for gastric cancer	Digestion	81	223-230	2010
<u>Muto M</u> , <u>Minashi K</u> , Yano T, Saito Y, Oda I, Nonaka S, Omori T, Sugiura H, Goda K, Kaise M, Inoue H, Ishikawa H, Ochiai A, Shimoda T, Watanabe H, Tajiri H, Saito D.	Early detection of superficial squamous cell carcinoma in the head and neck region and esophagus by narrow band imaging: a multicenter randomized controlled trial.	J Clin Oncol	28(9)	1566-1572	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ezoe Y, Muto M, Horimatsu T, Morita S, Miyamoto S, Mochizuki S, <u>Minashi K</u> , Yano T, Ohtsu A, Chiba T.	Efficacy of Preventive Endoscopic Balloon Dilatation for Esophageal Stricture After Endoscopic Resection.	J Clin Gastroenterol	45(3)	222-227	2010
Oono Y, Fu K, Nagahisa E, Kuwata T, Ikematsu H, Yano T, Kojima T, <u>Minashi K</u> , Fujii S, Ochiai A, Kaneko K.	Primary gastric squamous cell carcinoma in situ originating from gastric squamous metaplasia.	Endoscopy	42	E290-E291	2010
Bando H, Ikematsu H, Fuji KI, Oono Y, Kojima T, <u>Minashi K</u> , Yano T, Matsuda T, Saito Y, Kaneko K, Ohtsu A.	A laterally-spreading tumor in a colonic interposition treated by endoscopic submucosal dissection.	World J Gastroenterol.	16(3)	392-394	2010
Fukuda D, Ikematsu H, Kojima M, Oono Y, Kojima T, <u>Minashi K</u> , Yano T, Ochiai A, Kaneko K.	Early oncocytic adenocarcinoma of the transverse colon.	Endoscopy	42 Suppl2	E261-262	2010



## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ishido K, Tanabe S, Higuchi K, Sasaki T, Katada C, Azuma M, Naruke A, Koizumi W, Mikami T	Clinicopathologica l evaluation of duodenal well-differentiate d endocrine tumors.	World J Gastroenterol	16(36)	4583-4588	2010
Nakatani K, Koizumi W, Higuchi K, Katada C, Sasaki T, Nakayama N, Tanabe S, Saigenji k.	Clinical significance of evaluating primary lesions in patients with gastric Cancer who receive chemotherapy.	Gastric Cancer	13(1)	36-42	2010
Katada C, Tanabe S, Koizumi W, Higuchi K, Sasaki T, Azuma M, Katada N, Masaki T, Nakayama M, Okamoto M, Muto M.	Narrow band imaging for detecting superficial squamous cell carcinoma of the head and neck in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Endoscopy	42(3)	185-190	2010
Wang AY, Emura F, Oda I, et al	Endoscopic submucosal dissection with electrosurgical knives in a patient on aspirin therapy (with video)	Gastrointest Endosc	72	1066-71	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Gotoda T, Iwasaki M, Kusano C, Seewald S, <u>Oda I</u>	Endoscopic resection of early gastric cancer treated by guideline and expanded National Cancer Center criteria	Br J Surg	97	868-871	2010
Kinjo T, Kusano C, <u>Oda I</u> , Gotoda T	Prague C&M and Japanese criteria: shades of Barrett's esophagus endoscopic diagnosis	J Gastroenterol	45	1039-44	2010
Kiriyama S, Gotoda T, Sano H, <u>Oda I</u> , et al	Safe and effective sedation in endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: A randomized comparison between propofol continuous infusion and intermittent midazolam injection	J Gastroenterol	45	831-7	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Suzuki H, Saito Y, <u>Oda I</u> , Nonaka S, Nakanishi Y	Feasibility of endoscopic mucosal resection for superficial pharyngeal cancer: a minimally invasive treatment	Endoscopy	42	1-7	2010
Nonaka S, Saito Y, Takisawa H, Kim Y, Kikuchi T, <u>Oda I</u>	Safety of carbon dioxide insufflation for upper gastrointestinal tract endoscopic treatment of patients under deep sedation	Surg Endosc	24	1638-45	2010
Tu CH, Muto M, Horimatsu T, Taku K, Yano T, <u>Minashi K</u> , Onozawa M, Nihei K, Ishikura S, Ohtsu A, Yoshida S.	Submucosal tumor appearance is a useful endoscopic predictor of early primary-site recurrence after definitive chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma.	Dis Esophagus	Nov. 18	(in press)	2010

## 研究成果の刊行に関する一覧表【平成 22 年度】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Oda I</u> , Gotoda T	Remarkable progress in endoscopic resection of early gastric cancer	J Gastroenterol Hepatol	24	1313-1314	2009
Coda S., <u>Ono H.</u>	et al., Risk factors for cardiac and pyloric stenosis after endoscopic submucosal dissection, and efficacy of endoscopic balloon dilation treatment.	Endoscopy.	41(5)	421-6	2009
Zenda S., <u>Ono H.</u>	et al., Optimal timing of endoscopic evaluation of the primary site of esophageal cancer after chemoradiotherapy or radiotherapy: a retrospective analysis.	Dig Endosc.	21(4)	245-51	2009